

令和5年3月31日

東御市議会議長

中村真一様

会派名 日本共産党

代表者氏名 窪田俊介

令和4年度 政務活動費収支報告書

東御市議会政務活動費の交付に関する規則第7条の規定により、下記のとおり、令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

交付金額	240,000	円
支出金額	88,340	円
差引金額	151,660	円

(支出の内訳)

(単位：円)

科目	決算額	政務活動費充当額	説明
調査研究費	77,340	77,340	
研修費	4,000	4,000	
広報費			
広聴費			
要望・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費	7,000	7,000	暮らしに役立つ制度のあらまし、2022・2023
人件費			
事務所費			
計	88,340	88,340	

(実施事業)

事業名	事業内容
会派合同行政視察 議会議員研修 資料購入	東京都大田区、神奈川県寒川町視察 議会基本条例と議会力・議員力向上について 生活相談に必要な制度を調べるための資料購入

政務活動記録簿

会派名	日本共産党
事業名	議会会派合同行政視察【東京都大田区、神奈川県寒川町】
実施日	令和4年11月10日（木）～11日（金）
参加議員	窪田俊介、市毛真弓

1 東御市における課題と研修・調査の目的

【大田区】

・大田区で取り組んでいる議会ICT化の状況について、タブレット導入の経緯・効果、今後の課題について等をお聞きし見識を深める。

・「新産業創造・発信拠点」として建設された羽田イノベーションシティについては、設立の経過や実際の施設・取り組みを視察し、見識を深める。

【寒川町】

・「タブレット導入の取り組み」について、導入の経緯や利活用の状況についてお聞きし、見識を深める。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額（円）
(該当項目に○)	交通費	貸切バス代、有料道路代等 (@20,553円×2名)	41,106
○調査研究費	視察先謝礼	視察先土産代 .(@717円×2名)	1,434
研修費			
広報費	日当	宿泊料、日当 ((@13,000円+@2,200円×2日) × 2名)	34,800
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			77,340

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	令和4年11月10日(木) 午後1時～午後4時
視察場所及び 部局等	東京都大田区議会・羽田イノベーションシティ
視察事項	議会ICT化の状況について 羽田イノベーションシティの取り組みについて
報告 内 容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>「大田区議会ICT化の取組について」～タブレット型端末の導入当初から主な取り組み経過～その他のシステムの導入について伺う「羽田イノベーションシティの取り組み」世界と地域をつなぐゲートウェイとして新たなビジネスやイノベーションの創造、日本のものづくり技術や日本各地域の魅力を発信するまちづくりについて視察する。</p> <p>(2) 視察事項について</p> <p>タブレット導入当初・・・操作が不安、資料の紙配布を継続してほしい、事務局職員への負担は大丈夫か・・・など意見があったがICT化で、資料が容易に見られる、事務の効率化に寄与、情報共有のスピード化、議員のICTスキルが身についたなどの効果があった。取り組み経過ではiPadを短期間で導入し、4年間かけて段階的にペーパーレス議会の実現をした。次に情報連絡体制の確立を約1年半で行っている。その内容は議会電子図書室の運用から始まり、オンライン会議の試行、グループウェア「LINE WORKS」試験導入や音声認識システム「UDトーク」によりリアル字幕を会議等で活用するための導入などである。新型コロナウイルス感染症の拡大時に、オンライン会議の積極的活用ができ、iPadがあつて良かったと感じている。今後の課題はICTツールの効果的な活用、議会改革の推進、区民への還元が課題だとのこと。「羽田イノベーションシティの取り組み」通称HICityエイチ・アイ・シティは区と羽田みらい開発株式会社の公民連携によるまちづくりにより進められている。2023年にグランドオープン予定。今後さらなる国際化が期待される羽田空港エリアに未来志向のまちづくりを目指している。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>大田区での取り組みについて、とても詳細に説明をしてもらった。東御市もICT化を目指し、タブレットの試用を開始し大田区での視察研修の内容が意義あるものと改めて感じている。先人に倣い、誰にとっても使いやすいシステムを構築したいと思う。羽田イノベーションシティの取り組み 何でもできる、なんでも揃う大きなまちができようとしている。空港プラス滞在施設、遊べる空間、イノベーションとビジネス展開の様子を、グランドオープンののち、もう一度視察に行きたいと思った。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 2)

実施日時	令和4年11月11日(金) 午前10時～午前11時30分
視察場所及び 部局等	神奈川県寒川町議会
視察事項	タブレット導入の取組みについて
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>タブレット導入の取組について経緯や、その導入スケジュール、色々なシステム等について</p>
	<p>(2) 視察事項について</p> <p>タブレット導入にあたり、内容を検討するために逗子市議会を視察。業者の選定では3社からプレゼンテーションを受け、議会で決定した。議会と執行機関の同時導入に向け調整をした。レンタル機器での試行実施、議員全員での操作研修会の実施などを経て正式運用を開始した。機器の信頼性、OSの信頼性、故障率の低さ、保守対応などを鑑み賃貸借契約(48か月レンタル契約)。実際にタブレットをホーム画面から操作させてもらった。議場のモニターで一般質問の補足資料を掲示する活用例も提示してもらった。</p>
	<p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>機種を決めるにあたり、数社のプレゼンテーションと少し時間をかけた試用の必要性があるのがわかった。レンタル契約は購入してしまうより、サポート体制が整っているのであれば利点がある。議場のモニターは大きく見やすい、とても良いと思う。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

政務活動記録簿

会派名	日本共産党
事業名	議会議員研修「議会基本条例と議会力・議員力向上について」
実施日	令和4年4月27日（水）
参加議員	窪田俊介、市毛真弓

1 東御市における課題と研修・調査の目的

議会基本条例に関する知識の向上及び議会力・議員力の向上を目的として、議会全体で研修を行った。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額（円）
(該当項目に○)	講師謝礼	@2,000円×2名	4,000
調査研究費			
○ 研修費			
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
合計			4,000

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要

実施日時	令和4年4月27日(水) 午後1時30分～午後4時
実施場所	会場：東御市役所
研修会の名称	議会基本条例と議会力・議員力向上について
報告内容	<p>(1) 研修会概要</p> <p>基本条例をなぜつくるのか？議員力の発揮のしかたとは？</p> <p>(2) 研修内容について</p> <p>「議会基本条例」三重県議会条例に首長、議員、どちらも市民が直接選挙する住民の代表と明記した。それぞれが「民の負託」に応える責務があることを示した。条例というカタチにすることで住民にそれをしめすことになり、住民の監視の下となる。「議会力・議員力向上について」閉鎖的な議会から開かれた議会にして議員間の討議を活発にするためには・・・首長と議会は対立が前提であり、議会は上程された議案を審議、熟議しレベルを上げるのが議会改革。監視機能を果たしながら、議員間で提言、立案を共有できるよう議会力をつけることが必要。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>議員の役割は住民の代表として執行機関である行政を監視し評価することである。市長と同じことをやるのは意味がない。議会の役割に値しない。足並み揃えて市政を行ってはいは二元代表制の意味がない。仲良く行政を行ってはいは二元代表制ではない。</p>

政務活動記録簿

会派名	日本共産党
事業名	住民生活相談資料「暮らしに役立つ制度のあらまし」購入
実施日	令和5年1月17日((月))
参加議員	窪田俊介、市毛真弓

1 東御市における課題と研修・調査の目的

住民からの生活相談に必要な制度を調べるための資料を購入

2 経費

用途項目	経費の内容と内訳		金額 (円)
(該当項目に○)	暮らしに役立つ制度のあらまし	3,500円×2冊	7,000
調査研究費			
研修費			
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			7,000

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと